

平成23年度 第2回北海道ブロック協議会
第2回北海道代協理事会
議 事 録

平成23年7月15日(金)pm1:00~5:00

於:センチュリーロイヤルホテル

出席者

本部常任理事	小平 高義		理事	見上 峰夫	札幌	理事	吉田 和彦	釧路
会長	山口 史朗	札幌	理事	梅基 伸男	札幌	理事	酒井 惇	帯広
副会長	長尾 忠正	釧路	理事	廣瀬 禎	室蘭	理事	山田 和樹	帯広
副会長	羽山 和広	帯広	理事	坂本 信一	旭川	監事	木下 裕章	小樽
副会長	小谷田正彦	旭川	理事	山本 仁	旭川	教育委員長	富田 明久	苫小牧
副会長	松浦 則雄	函館	理事	鈴木 雅裕	小樽	帯広支部長	羽田 武史	帯広
副会長	山崎 善仁	札幌	理事	佐藤 聖	苫小牧	事務局	藤田 和代	
専務理事	赤山 登	札幌	理事	古宇田 渉	苫小牧			
常務理事	富谷 則文	札幌	理事	多和 康司	千歳			
理事	佐々木雅之	札幌	理事	小野 修	函館			
理事	町野 泰明	札幌	理事	大橋 敏	函館			

進行 専務理事 赤山 登

1. 開会の辞(小谷田正彦)

2. 北海道代協会長挨拶(山口史朗)

- 1、大手社の来年度自動車保険値上げ・制度改定の新聞記事に触れる。
- 2、議事への活発な議論をお願いしたい。

3. 日本代協常任理事挨拶(小平高義)

- 1、震災義援金協力への御礼を述べる。
- 2、日代協の認定保険代理士と損保協会募集人制度の統一化進行決定状況（損害保険トータルプランナー、損害保険プランナーの新設等）
- 3、募集関連（窓販弊害防止措置の大幅な改定撤廃はなく、政連活動の一定評価ができる）

4. 倫理綱領の朗読(羽田武史)

5. 議長選出

議長には副会長(山崎善仁)が指名され、承認を得た。

6. 議事録署名人の選出

議事録作成者:富谷則文常務理事(札幌)、議事録署名人に梅基伸男(札幌)、鈴木雅裕(小樽)各氏が指名され了承を得た

7. 議 事



[I] 報告事項

(1) 日本代協理事会報告(小平高義)

(2)

1、先程の挨拶にて報告済。

(3) 日本代協総会・全国会長会議報告(山口史朗)

1、時間配分上重要事項のみ報告。被災地代協会長（岩手・宮城・福島）よりの現状報告について一当該地区代理店は自身も被災しているにも係わらず、被災者のために支払・事故処理業務に積極的に従事し各方面よりも高い評価を受けている。これが、プロ代理店のありべき姿であり、継続的な支援について後ほど審議いただきたい。

(4) 日本代協委員会報告

(I) 組織委員会(小平高義)

23年度の各地区会員目標店数が設定され、国民年金基金とともに目標達成に向け邁進いただきたい。会員増強の根本的目的、他県代協成功事例、PR方法、勧誘方法、会員定着化と人材育成、国民年金基金の制度メリットにつき別添資料＜組織強化と会員増強＞により詳細説明が為された。

○ 札幌支部長より新入会員オリエンテーション用資料が欲しいとの要望あり。

小平氏返答一日代協書庫にそれ用のものがあるので、地区用に加工して使用いただきたい。＊北海道用に昨日加工したものを山崎氏がパソコン・プロジェクターにて照会披露する。

(II) 企画環境委員会(吉田和彦)

1、5月末、金融庁による銀行窓販に関する関係者よりのヒアリングが実施され、そこで日代協岡部会長が発表を行い、成果が望まれる内容であったと報告。

2、代理店賠償加入率改善に向けて、保険会社への支部ごとでの周知徹底活動に再度力を入れて会員増強へも繋げていってほしい旨を述べる。

(Ⅲ) CSR委員会(山本仁)

映画<0からの風>のDVDを高校向けに無償配布することが可能となり、交通安全教育活動とあわせて積極的に活用してもらいたいことを報告。(配布要領等詳細は会議資料P 17,18 参照)

(Ⅳ) 教育委員会(山崎善仁)

14期保険大学校申込の北海道の現在実績は34名(目標35名)と好調である。これは損協と統一化され2012年度より新しくなる募集人制度において、代協運営開催の最後の保険大学であり既資格保有者への最高ランク自動移行処置についても同じく最後となるものであるため、目標数よりは多数の受入態勢を布いているので対象者への勧誘を今一度お願いしたい。

*統一資格制度概要につきプロジェクター画面を用いて参加者へ説明。

(5) 各支部活動報告

各支部の活動については会議資料参照。以下特記事項ありの支部のみ記載。

札幌—7/27 新入会員オリエンテーション開催予定

旭川—5/20 北見にて無保険車追放キャンペーンを実施済

函館—6/24,28 道新地域記事欄に認定保険代理士広告を掲載済

釧路—7/22 新入会員オリエンテーション開催予定、ガン治療専門医によるセミナー実施予定

(5) 各委員会活動報告

各委員会の活動については会議資料参照。以下特記事項ありの委員会のみ記載。

教育委員会—○社会貢献活動として高校生向けのセミナー開催のために、富山代協で製作したソフトが非常に良いものであるため譲渡入手済。謝礼代金2万円の支払可否を審議事項へ提案いたします。

○今年度に植松電機専務植松努氏講師の公開講座開催の可否を審議事項へ提案いたします。

広報委員会—代協ニュース22号よりWEB化実施。

[Ⅱ] 審議事項

(1) 教育委員会よりの提案審議事項(委員会活動報告時に提案)

○富山代協へのソフト謝礼代金2万円の支払について

*議長採択をとり**承認可決**

○今年度の公開講座開催について

*議長採択をとり**承認可決**

(2) 会員増強・国民年金基金

本件は長尾忠正副会長より説明あり。(以下)

日代協よりの当年度目標の会員数と年金基金加入数は520店/4名となりましたが、北海道の自主目標として531店/9名としたい。各支部ごとの目標数については組織委員会に

て調整をします。年度初旬より退会会員が多数出ており、7月現在501店ですが、各役員、会員が本気で組織強化の意味を考え取り組めば不可能な数字ではないと思います。

(羽田氏より質問) 国民年金基金の将来展望はあるのか？また、収支マイナス苦におちいていないのか？

(小平氏が答弁) 年金基金については近年、地域型・職能型ともに増加傾向にある。会員にとっては非常に利益のある制度なのでなんとしても維持、存続をしていく。また、収支については、連合会で一括運用させているが大幅な赤字決算とはなっていない。

*議長採択をとり**承認可決**

(3) 東日本大震災復興支援の長期取組みについて

本件は山口会長より発表あり。

日代協義援金の配分先と金額は資料のP19～P24に掲載してありますので、ご確認いただきたい。報告事項にて述べましたとおり、被災地代理店の状況はとも今回の義援金のみでは不十分で、北海道代協として義援金の継続およびその他



支援具体策（パソコン等の物品提供）につき審議していただきたい。

○義援金継続の可否

*議長採択をとり**承認可決**

○その他支援策について、議長が意見を訊く。

- ・物品の配送は難しいので、金銭支援にて対応するのがよい。
- ・DRP他の事業収益の一部義援金への分配を実施してはどうか。
- ・地震保険の保険金額制限制度の撤廃、改定要求を提出すべき。

*2項目は議長により事業委員会にて検討してみることで、**継続審議**となる。

*3項目は北海道代協として要望書提出済。

(4) 政治連盟会費納入の件(梅基伸男)

前回よりの継続審議事項で、各支部に持ち帰り議論していただいた意見・現状を発表してもらおう。

函館支部—京都方式での会員向案内文章をソフトな文面にて作成していただきたい。

帯広支部—会員にアンケートを実施したが、半数以上が会費納入に対しては反対の結果がでた。その理由としては・日代協本体にても政治活動（政治献金等は除く）

はできるのでは？・どんな政治家にどのような要望を出しているのかがわ

からない・推薦議員の決定方法？・政連の役員、組織決定方法の不透明さ
釧路—1 会員 1,000 円程度でよいのでは。

苫小牧—京都方式のほうがすっきりとしてよい。

小樽—各会員への強制はできないし、やりたくない。

旭川—支部へ任せていただければ、割当金くらいはなんとかする。

札幌—京都方式導入へは反対。

(山口会長より発言) この理事会にて本日結論を出すのは不可能と判断されるので、
〈あるべきかたち委員会〉で討議を重ね結論集約を得た段階で再度理事会へ答申する
方法を取らせて頂きたいがどうか。

*議長採択をとり承認可決

(5) 代協入会資格について (山口会長より説明)

現在各支部にて、入会に対する可否基準が相違している状態にあるが、北海道代協として一定の統一性をもったほうがよいのではないか。この点につき各支部と議論をし、問題性を共有したい。当事案は審議事項 (7) とともに〈あるべきかたち委員会〉へ委嘱したい。

*議長採択をとり承認可決

(6) 連結決算 (富谷則文)

当年度、正式な連結決算年度に入っていますが、支部を含めて収入・支出等の透明性をもたず趣旨より、現金出納簿および支部主催行事 (新年会やセミナー等) についてはその収支決算書を必ず作成していただくとともに、会費については現金集金の場合は速やかに銀行口座へ預け入れることの徹底を提案。

*議長採択をとり承認可決

(7) 支部の地域範囲

5 項目 (入会資格について) と併せて〈あるべきかたち委員会〉への委嘱決定済。

[Ⅲ] その他

事務局より日代協主催コンベンション (11/18,19) の詳細予定内容を報告。

8. 閉会の辞(松浦則雄)

議事録作成者 富 谷 則 文

議事録署名人 梅 基 伸 男

議事録署名人 鈴 木 雅 裕